

第106回番組審議会議事録

株式会社エフエムしみず

日 時 平成26年3月12日(水) 午後1時30分～午後2時30分

場 所 清水マリナーミナル 3階

出席委員 望月紀久朗副委員長、遠藤前穂委員、杉山滋朗委員、湯本昌人委員

欠席委員 角替弘志委員長、飯田一晴委員、河村節子委員、大脇隆一委員、

進 行

1. 開 会
2. 審議番組 概要説明 審議番組聴取 20分
3. 審 議
4. 放送予定、次回予定、その他
5. 閉 会

審議番組

「我が街 清水区の防災レポート」(マリナル・ほっとライン 内)

制作担当: 水口 晃代

第71回【12/23(月)】駿河区戸籍住民課 橋本真里子 主任主事(1/2)

第72回【12/24(火)】駿河区戸籍住民課 橋本真里子 主任主事(2/2)

第94回【1/30(木)】静岡市立蒲原東小学校 高山広 教頭

第99回【2/6(木)】有度地区子育て応援団(市民団体)

番組概要

静岡市 総務局 危機管理部 防災対策課の提供による5分間のコーナーです。

このコーナーは厚生労働省の「重点分野雇用創出事業」制度を活用して採用した『防災レポーター』が、取材・編集したものを放送するもので、昨年度に続き行われました。

今年度は、東日本大震災の被災地への支援として現地に長期派遣された市役所職員や、清水区内で活動している市民団体・サークルの参加者、一般企業、小・中学校などを取材しました。(昨年度は自治会を中心に取材)

放送は 9月16日(月) から3月12日(水) 全123回

番組審議内容

審議挨拶、各委員からの意見を伺います。

遠藤委員

1回5分という放送時間について、市民サークルなど複数の方にインタビューした回は短くて中途半端な印象を受けた。

東日本大震災から3年の節目を迎えたが、防災についての放送はいろいろと難しいと感じた。

杉山委員

毎週月～金の放送と説明を受けたが、毎日聴くには5分という時間はちょうど良いと感じた。この内容で10分だと長いと思う。

第94回放送分で「一言お願いします。」と質問していたが、漠然としすぎて答えにくいと思う。もう少し質問に答えやすいように工夫があれば良い。

湯本委員

7月1・2回に出演していた橋本さんは元部下なので、感慨深く聞いた。

杉山委員の意見と同じで5分という放送時間は適切な長さだと思う。

防災意識の啓蒙は毎日繰り返すことが大事。

被災された方や、実際に現地に行った方の話には重みがある。私も震災から2年後に仙台に行ったが、市中心街と海岸沿いでは全く様子が違っていた。

インタビュー形式での放送とのことだが、重要な防災情報については紹介・説明の形式の回があっても良かったのではないかな。

BGMのレベルが高いと感じた。

望月副委員長

運転免許証や保険証が無くてはなんとかなること、蒲原の海拔が意外と高く高部の海拔は低いことなど、知らないことが多く、いい内容だったと思う。

湯本委員の意見と同様、BGMのレベルが大きいくと感じた。ラジオを聞く環境によってはアナウンスが聞こえないのではないかな。

次回は、平成26年5月15日（木） 13：30 開催予定

以上